

事業評価シート

事務事業名	中学生国際交流事業	担当課名	生涯学習課
総合計画の 主要施策名	国際交流の促進	事業コード	5431

事業の目的	海外の生活体験を通して異文化理解を促進することにより、広い視野と優れた国際感覚を養う基礎を築く。			
事業の内容	中学生海外研修			
事業の対象	町内の中学生(1～2年)			
事業費	年度・区分	平成22年度決算	平成23年度決算	平成24年度予算
	金額	447 千円	1,274 千円	1,771 千円

事業の効果等	中学生という感受性豊かな時期に異文化に触れることで、国際社会に目を向けた人材の育成が図られる。
実績・成果等 (数値)	研修先:韓国(ソウル市) 研修参加者:11名(2年生2名 1年生9名)

事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか。)			
	増加	横ばい	減少	かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	十分寄与する	概ね寄与する	あまり寄与していない	できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	十分できている	できている	あまりできていない	できていない
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	十分できている	できている	あまりできていない	できていない
判定説明 及び考察	国際感覚を磨き、他国の人々との交流を図ることが期待されるが、年々参加者が減少傾向にある。魅力あるプログラムを検討する必要がある。			
事業の 方向性	さらに重点化する 事業の縮小を検討する	現状のまま継続する 休止、廃止を検討する	見直しのうえ継続する	

外部評価	B	評価委員意見	参加者全員の感想を何らかの形で掲載し、それらを各施設に配置したほうがよい。事業の啓発や有効性が高まる。
------	---	--------	---